



～ 国内の石油精製・石油化学・化学プラントの安定操業を担う
プラントの保全業務・設備診断/検査業務を遂行 ～

業務の醍醐味

年単位・数か月単位の以下業務を実施。

- ・プラントの保全業務
- ・プラントの改造工事
- ・プラントの診断/検査業務

日々、新しい技術を自分のものにして、顧客に評価・感謝され、成長を実感できる業務です。

学生時代に、保全および検査を勉強してきた方は居ないので、会社に入ってからが勝負です。学生時代の基礎学問に、

- ・法律/規格（高圧ガス保安法、JIS/ASMEなど）
- ・装置のプロセス（流体、温度、使用材料）
- ・プロセスに基づく機器類の劣化損傷現象
- ・機器類の開放工事方法・メンテナンス方法
- ・機器類の検査方法
- ・補修技術（溶接）

を日々習得することで、若手でも早期に現場責任者に任命され、やりがいがあります。

メンテナンス部の特徴

国内のコンビナート地区に地区事務所・出張所・顧客構内の現場事務所を展開。

顧客に密着した活動拠点で、プラントの保全業務・診断/検査業務を実施。

顧客密着型の業務のため、定常的に業務量を確保（日揮株式会社の業務のベースロードを担う）。

地区事務所/出張所： 12か所

北海道/直江津/磯部/鹿島/千葉/横浜/
四日市/堺/水島/徳山/宇部/大分
その他顧客構内の現場事務所

出光興産(株)、ENEOS(株)、住友化学(株)、
丸善石油化学(株)、信越エンジニアリング(株)、
昭和四日市石油(株)、東ソー株、UBE(株)、等多数

メンテナンス部を構成する 技術者

メンテナンス部は以下の技術者で構成されています：

- ・保全技術者：
プラントを構成する機器（圧力容器・配管・回転機など）の保全工事の計画業務、施工管理業務を実施
- ・診断技術者（検査技術者）
装置の検査業務の管理を実施
（状況検査・非破壊検査・寿命評価
補修法案の策定など）
- ・プロジェクト技術者
エンジニアリング本部・機器製作会社などに協力いただく設計・調達業務の管理を実施
- ・CP（Cost & Procurement）技術者
工事・検査の見積積算および協力会社の見積査定を実施
- ・安全技術者
工事・検査を安全に実施できるよう安全管理を実施

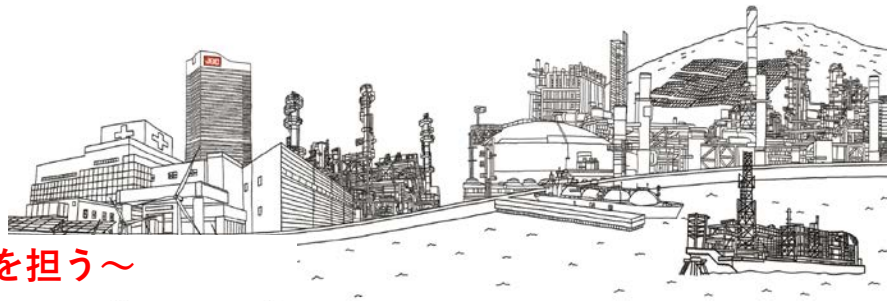
教育制度の充実

メンテナンス部の技術者育成のために、教育を積極的に実施：

- ・冬季講習（保全・診断関連の技術研修）
保全・診断業務を実施する上での必要な知識の習得
- ・非破壊検査技術者講習
資格取得のための1次及び2次試験対策
- ・社外溶接講習
- ・保全・診断業務の入構前教育など



メンテナンス部



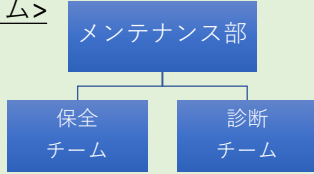
～国内事業のこれからを担う～

業務内容

客先工場内に常駐して、装置・機器・配管等のメンテナンス工事・設備診断を行う。また、既設装置の設備改善工事（小規模改造）や新規品への更新工事等もメンテナンス部にて担うこともある。

<メンテナンス部のチーム>

- 保全チーム
工事計画・管理業務
- 診断チーム
設備診断（検査）



メンテナンス部の醍醐味

“現場の最前線に常に立っている”

現場では常に、顧客担当者との調整、各ベンダーへの指揮・管理を行う。建設工事にはないスピード感で日々調整の為、目まぐるしく動き回る。

又、時には顧客に対して工事・設備における問題点・改善点の提案や設備診断による安全性評価の報告を行い、半ば営業的な業務も行う。まさに現場の最前線に常に立っているのがメンテナンス部員である。



<業務の流れ> ※工事業務の流れを例とする



見積作成

顧客の見積依頼を受けて、提出用に見積を作成する。作成の為に、現場確認と各ベンダーへのヒアリングが必要となる

本工事

工事計画を基に実際に工事を行う。顧客担当者、ベンダー責任者と日々調整し、装置・機器のメンテナンス工事を行う。時には、計画通りいかないこともあるが、培った経験と日揮のノウハウにより臨機応変に対応する。



工事計画

実際の工事を行う為に、下記計画を行う

- ・ベンダーの再選定
- ・現場詳細の確認
- ・施工要領の作成
- ・配管図面の作成
- ・官庁申請書類の作成
- ・客先/ベンダーとの打合せ
- ・他社との調整



プラントメンテナンス事業はこれからの国内事業の主要ビジネスとなります。

日揮JAPANの核となる人材を我々は求めています。是非我々と共に、日揮JAPANの中心となりましょう。